

## 真鍋ガーデン

### 緑の壮大な実験

真鍋庭園は、植物相の生きた研究所でありショールームとして、プロのランドスケープ設計者、園芸家、デベロッパー、その他の専門家を魅了しています。専門家たちは、この生きて進化し続けているグリーンのディスプレイを見にやってきます。このディスプレイは芸術的な意匠だけでなく、適切な環境下では様々な気候条件を必要とする植物の共生が可能なことも示しています。

### ガーデン

真鍋庭園の敷地は、日本庭園、鯉の池、リバースポードーガーデン、はまなすの丘、針葉樹の庭、モンスターガーデン、8メートルの滝、ニジマスの池など、複数エリアに分かれています。

真鍋庭園の日本庭園は、北海道ガーデン街道の中でも別格です。伝統的な日本庭園の植物のほとんどは、北海道の厳しい冬を生きぬくことができません。しかし真鍋庭園では鯉の池に温泉を管で送っており、敷地を温めることで植物が枯れないようにしています。

### イリュージョンとモンスター

リバースポードーガーデンは、鏡で映したように対称的な2面構成となっています。これも幻想的な光景です。なぜなら、この2つの面は同じ種類の植物が異なる2色で植えられており、視覚的な左右対称を形作っているからです。同じ種類の植物は全て、高さが異なるように植えられ、低い方の端からは列全体が見渡せるようになっています。

モンスターガーデンは、あらゆる方向にねじ曲がった奇妙な形の矮樹が植えられているのが特徴です。この木々は単独では奇妙に見えないかもしれませんが、集まると不安を覚える視聴効果をもたらします。

### コニファーの庭

真鍋庭園には日本初の、また日本最大の針葉樹林の庭園が存在しています。ここには何百本もの常緑樹があります（特にトウヒ類が多く存在します）。その多くは北米のより寒い地方が原産ですが、北海道の厳しい冬にも適応することができました。針葉樹は常緑樹なので、常に緑のキャンバスを提供してくれます。暖かい季節には、花々や他の季節植物がこのキャンバスに色を添えます。

これらの木々も、真鍋庭園が顧客に提供する植物カタログの重要な一部です。木々は強い風から庭園を守り、木陰を形成し、緑豊かな森を創り出しています。

### リスと芸術作品

このガーデンには8メートルの滝の地殻にある木製デッキがあり、それは2本のシラカバの木の周りに作られており、まるで屋外ツリーハウスのように見えます。約6メートルの高さのデッキから花

や植物を見ると、木々の下や周りに見え、また異なる視点から楽しむことができます。

エゾリスコースを通ると、約 1 時間で庭全体を巡ることができます。野生動物といえば、庭園は多くの野生動物にとってシェルターの役目も果たしています。バラ園や屋外彫刻ギャラリー近くの丸太柵は、北海道原産の野生エゾリスの遊び場として設計されています。

敷地全体には芸術作品が点在しています。そのいくつかは動力鋸で丸太を刻んだものです。また、木製デッキや木製の建造物もあります。茶屋もあり、伝統的な茶席など特別な機会に使用されています。

#### 他の主要な情報

真鍋庭園はユニバーサルアクセス施設であるため、ほとんどの庭園では車椅子がご利用いただけます。全ての来園者は自由にメインコースの低い丘、小川、滝、高架展望デッキ、起伏に富んだ森を散策することができます。

真鍋庭園は 4 月下旬から 11 月末まで、早朝から夕方までの営業となっています。真鍋庭園で体験できる内容は、このリンク[\[体験内容ページにリンク\]](#)から確認できます。